WEEKLY REPORT
YAMAGATA CENTRAL

CLUB NEWS

vol. 1258
2020・2021 MEETING

2020-2021年度国際ロータリーテーマ
ロータリーは機会の扉を開く

国際ロータリー第2800地区 第5ブロック
山形中央ロータリークラブ

新たな試練を機会に、ロータリアンとして創造力と柔軟性で乗り越えよう！

〒990-0031 山形市十日町1-1-26 歌懸稲荷神社社務所ビル2F　TEL(023)632-7777　FAX(023)624-5200

例会 毎週火曜日12:30～13:30(但し第5週は18:30～)　会場 ホテルメトロポリタン山形

■会長 小林敏郎
■会長エレクト 長橋正人
■副会長 石山徳昭
■直前会長 伊藤和子
■クラブ管理運営 長谷川淳
■職業奉仕 佐竹純一
■社会奉仕 小泉俊哉
■青少年奉仕 相川博昭
■国際奉仕 中川清美
■幹事 玉ノ井憲史
■副幹事 佐藤太
■会計 深瀬隆志
■SAA 川合勝芳

国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク(ドイツ)
第2800地区ガバナー 齋藤榮助(米沢中央)
第5ブロックガバナー補佐 北門一忠(上山)

YAMAGATA-CENTRAL JAPAN
ロータリーは機会の扉を開く

◆日時／2021.5.25 12:30　◆例会場／ホテルメトロポリタン山形　◆ソング／我らの生業

会長挨拶

みなさん、こんにちは。本日は例会に先立ち、第3回クラブ協議会を開催しました。多くの皆様にご出席頂きましたことに感謝申し上げます。一年間のクラブ運営に関して、各委員会からの貴重なご意見を頂戴しました。コロナ禍の中、まだ当分の間はクラブ活動に影響を与えることと思いますので、本日の結果を次年度へ引き継ぎ出来れば思っております。ラスト1ヶ月余りとなりますが、どうかよろしくお願い致します。本日の卓話は継続して会員卓話とさせていただき、新沼会員にお願いしております。食事後、どうかよろしくお願いします。

さて、5月は「青少年奉仕月間」。今日も青少年に関する話題をお話させていただきます。4月1日現在、15歳未満の子どもの数は、前年より19万人少ない1493万人となり、40年連続で減少し、少子高齢化がさらに進んでいると新聞が報じておりました。

また、コロナ禍で結婚を延期し、出産を控えようとする夫婦が増え、21年の出生数は75万人程度減る。更に人と人との接触が制限され、何でもオンライン化が進むことで、社会全体で「恋愛活動」が停滞する傾向が起きる。現在の飲食業や観光業に破壊的打撃を与えるにとどまらず、本当の厄介は「少子化の急加速」、そして子どもが周囲に見当たらない「無子化社会」が近い将来、到来しかねないと今週の日経ビジネスの特集記事が報じております。

コロナワクチン接種の事前予約の申込も既に始まり、まもなく本格的な接種も開始されます。ワクチン接種が先行している米国などは経済が戻ってきているとの報道を見るにつけ、日本経済の回復も、ワクチンが鍵を握っていると言えるでしょう。

しかし、このコロナ禍により、青少年の恋愛を含めた物事に対する思考停止する期間が長くなれば、更に人口減少に影響することが考えらます。ロータリークラブは、青少年にさまざまな機会を提供することも、青少年奉仕活動のひとつとされています。地域コミュニティーを工夫するなど若者の出会いの場を創るなど、日本におけるRCの社会貢献活動のあり方も考え直す時期に来ているのではないかと一人考えたところです。皆さんはいかがお感じでしょうか。

それでは、今日もどうかよろしくお願いします。

ニコニコ情報

石山徳昭／新沼さんの卓話に感謝。

小林敏郎／例会に先立ち、クラブ協議会にご出席いただきまして、ありがとうございます。また、例会にも多くの皆様のご出席に感謝申し上げます。新沼さん卓話ありがとうございました。

本日出席・修正出席

	会員総数	出席義務出席数	出席会員数	出席率
本日出席	38名	—	24名	—
修正出席				
他クラブでメークアップされた会員				

会員卓話
ホテルについて

新沼　悟 会員

（国鉄時代のホテル事業）

・鉄道員時代の奈良ホテル、日本ホテルによる東京ステーションホテルが発端

・国鉄は運営会社を設立し、ホテル事業に出資した。

・当初、多くのホテルが「○○ターミナルホテル」という名称であったが、ターミナルは医学用語で「末期、臨終」という意味があったことから、それを嫌った。

　また、永六輔が「ターミナルホテルは終末医療を行う施設」という国もあることから、海外のお客様が泊まらないことを指摘し、JR各社の殆どが「ブランド名」に改称した。

（JR東日本のホテル事業）

・JR東日本ホテルズグループは、現在56のホテルがある

・運営会社：日本ホテル㈱、仙台ターミナルビル㈱、盛岡ターミナルビル㈱、秋田ステーションビル㈱

（仙台ターミナルビルの事業）

・ホテル事業　3館　ショッピング事業4館　農業事業　オフィス事業（イーストゲートビル）

（ホテルメトロポリタン山形）

・開業時

山形新幹線開業に合わせ1993年11月27日開業

現在、地上11階であるが、当初は15階を計画していたが地元から反対に合う

現客室数116室であるが、計画とおりであれば約200室あったと思われる。

・2000年頃収益から一気に下降

婚礼が350件　1日3回転　売上14億が近年は100件をした回る

婚礼需要減少と共に経営が厳しい状況となった。

・ホテルは儲からない

シティホテルはコストがかかる（人件費、大掛かりな設備投資が数年に1回発生）

宿泊は収益率が高い　➡　宿泊特化型ホテルが急増（外資系は宿泊特化型が多い）

消耗も激しく絶えず設備投資をしている

（客室リニューアル）

・ＡＤＲ

一室当たりの単価が重要

山形は安すぎる。価格破壊は自滅する

・調理の衛生面

安全が命、手洗いなど当たり前がきちんとやる

近年はアレルギーのお客様が多く、緊張感を持って対応している

命を預かっているという気持ちで取り組んでいる

・サービスとおもてなしの違い

挨拶、料理出しは当たり前

雰囲気を楽しみに来ていいただいているお客様を満足させるための気配り、先を読んだ行動が一番大切　➡　マニュアルはない。感性を養うことが重要。

・GOODサービス

お客様のお部屋に調度品をお持ちした後、ドアは閉まっているが、深々と一礼した事象は、正にお客さまを目線の仕事。誰が見てようが見ていまいが、最高のおもてなしをする精神の賜物。

・コロナ禍の現状

売上は一昨年の30%である。

今できることは、アフターコロナに向けて、いつお客様がお戻りになっても最高のおもてなしができるよう準備をすることである。